

【資料4】

地域アセスメントシート(抜粋)

| 圏域名 | 谷津(谷津 谷津町 奏の杜) | 秋津(秋津 茜浜 香澄 芝園 袖ヶ浦) | 津・鷺(津田沼 鷺沼 鷺沼台 藤崎) | 屋敷(花咲 屋敷 泉町 大久保 本大久保) | 東習志野(実靱 実靱本郷 新栄 東習志野) |
|-----|----------------|---------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|
|-----|----------------|---------------------|--------------------|-----------------------|-----------------------|

地域特性(ハード面・ソフト面の概況)

| | | | | | |
|-----------------|---|--|---|---|-------------------------------------|
| 地理的特徴 | 谷津・谷津町は細道、道のアップダウンが多い。奏の杜は道路整備された再開発地。 | 市の南部に位置する埋立地。京葉道路、東関東自動車道が横断している。東京湾周辺は工業地帯。 | 坂が多く、道が狭い地区が多くあり | 北部と南部の2つのコミュニティがある。北部には日本大学と東邦大学を中心とする文教施設が立地。 | 北部に工場地帯・住宅地・文教施設・南部に田園 |
| 交通アクセス状況 | JR津田沼駅、京成谷津駅、路線バスがあり、市内他市へアクセスしやすい。 | 徒歩圏にJR新習志野駅があり、JR津田沼、新習志野、京成津田沼へのバスが運行、コミュニティバスが住宅地を運行 | JR津田沼駅、京成津田沼、大久保駅への京成バス、地域バスが運行。 | 圏域の中心に京成大久保駅があり、幕張本郷駅が近い。 | 京成線実靱駅 京成バス 地域バスが運行 |
| 生活環境(商店、金融機関など) | スーパー等はあるがJR津田沼付近以外は商店、金融機関ともに少ない。 | スーパーが複数あり、金融機関も複数ある。公園や運動を行うスペースが多くあり、総合福祉センターもある。 | 津田沼駅、京成津田沼駅を中心に大型スーパーや銀行がある。一方で駅から遠い鷺沼台にスーパーが少ない。 | 文教施設と京成大久保駅を結ぶ商店街が形成されている。 | 実靱駅周辺に郵便局・銀行・商店、東習志野にも商店群あり |
| 住宅状況 | 奏の杜 高層住宅、新築戸建が多く、転入者が多い 谷津 団地と戸建て 立地の差が大きい | 団地と戸建て住宅がほとんど。 | 駅周辺に大型マンションが多くあり。住宅街には若い世代と高齢の世帯が混在している。 | 市営、県営等の公営住宅が点在している。古くからの住宅と新しい住宅が混在している。 | 東習志野:県営住宅 新大型マンション 戸建 実靱:戸建 農村地帯 |
| 地域活動の状況 | 活動がやや少ない傾向にある | 地域住民の活動意識が高い地区があるが、活動が少ない地区もある。 | 各町会それぞれ活動が活発 | 活動頻度は地区ごとにばらつきがある。町会それぞれに活動しており、同じ町会でも新しい住宅では住民同士のコミュニケーションが十分ではない。 | 東習志野地区:連合町会の活動が活発 祭等の催し物も多い |

考察

| | | | | | |
|----------------------------|--|--|--|--|--|
| 把握している地域課題 | ・若い世代の転入が増えた一方で、居場所がなくなると感じる高齢者がいる。 ・既存のサロンに後任がいいため、存続が難しい。 | ・高齢者世帯が多く、エレベータの無い団地が多く、買い物やゴミだし等に問題ある人が多いため、介護保険外の家事援助が必要。 ・引きこもりがち、認知機能の低下した人の行ける場所がない。 ・経済的な問題を抱える世帯がある | ・各地区でサロンなどが開かれ活発であるが、場所によっては歩いていけないところがある。 ・病院への付き添いや同居家族がいる方への家事支援など介護保険外サービスの希望多い。 | ・市営・県営団地を中心にひとり暮らしが多い。 ・スーパーが少ないため、買い物しづらい。 ・介護保険サービスの利用を拒まれるケースがみられる。 | ・低所得世帯が多い。適切な医療・介護を受けられない懸念有、虐待につながる可能性も秘めている。 ・新栄は連合町会がまたがっており、関係づくりに困難な面がある。 ・土砂災害危険箇所が複数ある。 |
| 新たな議題(まとめた情報の分析や 新たに見えた課題) | ・世代交代により閉じこもりになる高齢者がいるため、 多世代交流の場が必要。 | ・サロンや家事援助はあるが、高齢者が情報を取得できないため、利用できていない。高齢者と情報をつなぎ、活用できるようにする人材が必要。 ・ 認知症高齢者の見守り支援が必要。 | ・坂道が多いことや歩いて行ける距離に出かける場所がない区域もあり、閉じこもりがちな高齢者のために出かける場所づくりと閉じこもってしまった方への対応が課題 ・ 繋がりが無い方の把握とアプローチが必要 | ・ 認知症高齢者の見守りが必要。 ・ 介護保険外の家事援助サービスの充実。(※) | ・行事やサークル活動が多く、近所付き合いも盛んだが地域との接点が希薄になり、閉じこもりとなる高齢者もいる。 地域とのつながりが途絶えないようなネットワークを作る必要がある。 |

※現在、市において介護予防・生活支援サービス事業において、訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)の検討を行っています。